

# 大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第5号

令和3年5月14日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>

## 一人一台のタブレットが授業であたりまえに！



国の「GIGA スクール構想」のもと、昨年度末、すべての児童にタブレット端末が一人一台配備されました。また、坂井市では、3年生以上のすべての教室に65型の大型モニターが設置され、本校ではすべて教室に大型モニターを配置することができました。このようにICT環境が整備され、授業も大きく変化しているなか、本校でも、学年に応じたタブレット端末や大型モニターを活用した授業に取り組んでいます。

4年生の算数の授業では、「 $72 \div 3$ 」の計算を、画面上に10円玉と1年玉を移動させながら考え、グループ内で発表し合ったり、全体で共有したりしていました。また、5年生は先週、田植えの見学をしたことを受け、「米の銘柄を調べよう」という学習のなかで、日本各地で栽培され食べられている米の銘柄をタブレットを用いて調べ、ワークシートにまとめていました。どういうタイトルで検索すれば知りたい情報を得ることができるのか、これも大切な学習の一つです。6年生は家庭科の「クリーン大作戦」という単元の学習にタブレットを活用していました。タブレットの「シンプルプレゼン」という機能を用い、各自が発表のためのスライドを作成。その後、スライドを見せながら、どこの場所を何の用具を用いて掃除をしたか、掃除した結果、どのように変わったかをグループや全体で発表していました。

児童の考えを引き出し、楽しく主体的に学習に取り組めるよう、ICTを有効活用していきたいと考えています。



## 授業改善に向けた現職教育に取り組んでいます！

今年度のスクールプランを4月末にお示したとおり、今年度は「確かな学力の育成」のために「どの子にもわかる楽しい授業づくり」と「聴いて考え、自分の考えを伝え合う授業づくり」の2点に重点をおいて取り組んでいくことにしました。そこで、5月10日（月）11日（火）の2日間、「対話的な学習」と「ICTの活用」の具体的な手立てについて全教員で話し合い、共通理解を図るための現職教育を行いました。授業を変えるためには、まず我々教員自身が学びを深めることが必要だと考えています。

